

施策評価シート（平成29年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	3-1	政策名	子育て環境の充実	政策の 目指す姿	子育てに喜びを感じ、安心して、健やかな成長を育んでいます	施策 主管課	こども課	施策主管 課長名	今井 岳彦
	施策No.	3	施策名	就学前教育の充実	施策の 目指す姿	保育園、幼稚園、認定こども園から小学校へスムーズな接続ができています	関係課名			
	現状と課題									

◎ 前年度の評価の振り返り

<p>(前年度評価時の今後の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師個々ではなく、学校全体、園全体での取り組みとなるよう教育事務所と連携し、アプローチカリキュラムやスタートカリキュラムの定着を図る。 公立保育園再編指針及び再編第1期実施計画による民営化移管園の検証を行いながら、第2期実施計画の策定を行い再編を着実に進めていく。 文部科学省による幼児期運動指針の推進を通じ、運動能力調査の方法等を統一することで実態把握が可能となるよう事業内容の構築を検討する。 <p>(反映状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育施設園長と小学校長との合同会議を実施し、施設、学校として取り組めるよう情報共有を図るとともに、アンケート調査を実施しアプローチカリキュラムやスタートカリキュラムの活用状況について確認した。 第2期実施計画（計画期間H30-H32）を策定し、保育所民営化を進めることとした。 幼児期運動指針に基づいた遊びについて学習するニコニコ元気っ子研修を実施した。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

<p>(1) 保育・教育環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公立保育所、幼稚園の施設整備 <ul style="list-style-type: none"> ・安全、安心な保育・教育環境を保つため、定期的に施設を点検し、環境整備を行った。 ○公立保育所の再編、民営化の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・内川目保育園を閉園した。 ○私立幼稚園の振興に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園の運営を補助し、振興に対する支援を行った。 	<p>(2) 就学前教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市内全園の保幼小一体による就学前教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・保育園・幼稚園・小学校の園長、校長による合同会議を開催し、幼児教育の理解を深め、連携強化を図った。 ○保育、教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・保育士・幼稚園教諭が保幼小一体研修に参加し、保育・教育の質の向上に努めた。 ○保幼小接続期カリキュラム実践等の保幼小の連携推進 <ul style="list-style-type: none"> ・保育園・幼稚園・小学校が連携して保幼小接続期のカリキュラムを実践し、小学校へのスムーズな接続を図った。 ○運動能力向上の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・運動能力検査の実施 ・幼児期運動指針に示された動きを遊びや生活の中に取り入れていくようニコニコ元気っ子研修を開催した。 ○児童期の発達に対する適切な支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ことばの表現能力に課題のある子どもを早期に発見し、発達の支援を行った。 ・少人数の保育環境にある5歳児を対象にして発達に必要な集団活動を体験する機会を設けた。 ○地域の人材の活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・食育や郷土芸能の伝承など、地域人材を活かした取り組みを行った。
--	---

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31
小学校1年生が入門期となる4～5月の学校生活に適應できていると捉えている学校の割合	保育園・幼稚園から小学校における「保幼小接続期のカリキュラム」を活用し保育・教育の成果を示す指標	出典:こども課 小学校1年生担任アンケート 問:身支度ができる、集団行動ができる、学習のルールがわかるか。	%	目標値	85.0	85.0	85.0	86.0	87.0	88.0
				実績値	93.0	89.5	83.3	90.0		

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
A	<p>■成果指標「小学校1年生が入門期となる4～5月の学校生活に適應できていると捉えている学校の割合」…【達成率a】</p> <p>アンケートによると、「身支度や片付けができる」は100%で他の項目でも8割を超えており、アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの浸透により学校生活に適應できていると捉えている学校が増加した。</p>

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象 直結度	意図 直結度	
1	保育所保育環境充実事業 公立保育園の施設環境整備。 (太田保育園駐車場整備、成島保育園畑移設ほか)	こども課	間接・ 少数	間接・ 補完	B
			C		
2	はなまき幼保一体研修事業 保育園・幼稚園職員、小学校1年生担任を対象とした外部講師による研修 (10回開催)	こども課	一致	直結	C
			A		
3	幼児のことば教室事業 幼児を対象としたことばの検査及び指導の実施。 (ことばの指導実施幼児数 66人)	こども課	間接・ 少数	直結	B
			B		
4-1	幼稚園教育環境充実事業 幼稚園就園奨励補助や私立幼稚園運営補助を行う。 (幼稚園就園奨励補助金交付人数 554人)	こども課	間接・ 少数	間接・ 補完	B
			C		
4-2	幼稚園教育環境充実事業 公立幼稚園の教育環境整備 (花巻幼稚園保育室内装改修)	こども課	間接・ 少数	間接・ 補完	B
			C		
5	幼稚園教育指導充実事業 花巻幼稚園において、教育課程等の見直しを行う。 (園内研究58回、研究協議会1回)	こども課	間接・ 少数	直結	B
			B		

5 施策を構成する事務事業の検証

<p>(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)</p> <p>・なし</p> <p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)</p> <p>・はなまき幼保一体研修事業について、外部講師による研修の参加者が減少している。</p> <p>(新たに取り組むべき事業はないか)</p> <p>・なし</p>

6 施策の総合的な評価

<p>(課題)</p> <p>・はなまき幼保一体研修事業における外部講師による研修の実施回数が減少したことに伴い、外部講師による研修の参加者数が減少した。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>・平成28年度までの研修における外部講師からの助言により、平成29年度は内部講師による研修の充実を図ったところであり、結果的に外部講師による研修は減少した。今後、事業目的を達成するための研修のあり方、実施方法について検討する。</p>
--